



真岡市議会議員

お世話になります！

中村かずひこ通信

【発行元】 中村かずひこと未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4
Tel. 0285-82-6285 e-mail tonpei@i-berry.ne.jp
ホームページ <https://www.nakamurakazuhiko.com>



vol.69



現在、真岡市のホームページで
『新型コロナウイルス感染症』に
関する各分野の情報をひとまとめにして
お知らせしています。



情報は随時更新されますので、こまめに
チェックすることをおすすめします。

これまで『未来をつくる会』では、毎回定例議会終了時に、
「中村かずひこ通信」を発行してきました。1~68号までを見
逃した方は、お気軽にご連絡下さい。
こちらからお送りさせていただきます。

「見逃した!」という方に
バックナンバーをお送りします

次回の「中村かずひこ通信」は
次回発行予定期
11月8日(日)

質問で取り上げたことが実現しました!



その1 夏休み期間中の授業・給食のあり方を見直し

真岡市内の小中学校では、今春の長期休校を受け、夏休みを短縮して授業時間を確保します。しかし、当初の計画では、夏休みの期間を8月8日～16日とし、授業は毎日3時間のみで、給食の提供も行わないという内容でした。

この課題について、6月定例議会にて見直しを求めたところ、夏休みを8月1日～16日までに拡充する一方、通常通りの授業編成で進め、給食も提供されることになりました。

※栃木県内の大半の市町では、この内容で実施されます。

	見直し前	見直し後
夏休み期間	8/8～8/16	8/1～8/16
1日の授業時間	3時間	6時間
夏休み中に確保できる授業時間	69時間	104時間
給食の提供	×	○

※授業時間は1日6時間で計算(ただし、1週間のうち1日は5時間)。



新型コロナウイルス
感染症関連

支援策の一覧表を作成

新型コロナウイルス感染症に対する様々な支援策が、国、県、市など各行政機関から、逐次打ち出されています。それらについては、これまで市のホームページなどを通じて、市民の皆様に伝えられてきましたが、日々新しい情報が蓄積されるため『どのような支援策があるのか、分かりにくい』との指摘が、数多く寄せられてきたところです。

そうした中、真岡市では各分野の支援策や連絡先などをひとまとめにした一覧表を作成し、6月下旬に各家庭に配布(6/26の『オールポスト』)されました。

※実現に向けてご尽力いただいた関係各位に心から感謝申し上げます。

6月定例議会報告

6/1 ▶ 6/17

中村が行った代表質問の内容

1. 今後の財政運営について

- (1)令和2年度に実施を見合わせる事業と、その事業費について

2. 市民への情報提供のあり方について

- (1)新型コロナウイルス感染症に関する情報提供の見直しについて

3. 防災・減災対策について

- (1)新型コロナウイルスの影響下における避難所のあり方について
- (2)マスクや消毒液などの確保について

4. サーマルカメラの設置について

- (1)新庁舎などへの設置について

5. 夏季休業を短縮して行う授業について

- (1)授業時間の見直しや給食の提供について

6. アフターコロナに向けた対応について

- (1)UIJターンの促進に向けた取り組みについて
- (2)『クラウドソーシング』の普及促進について



代表質問

- 議員による質疑・一般質問は、8日(月)に行われ、中村はトップバッターとして登壇。会派『もおか新時代』を代表して、6件の課題について質問を行いました。
- 執行部は答弁の中で、
- ◆新型コロナウイルスの影響により、実施を見送るため未執行となる事業費が、現時点で約1億円に上ること
 - ◆新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた『避難所運営マニュアル』を6月中に策定することなどを明らかにしました。
- (中面に関連記事)

今回の質疑・一般質問は、コロナ対策の一環として、質問者の人数を各会派で調整し、発言時間も短縮(30分→20分)して行われました。



中村かずひと議会レポート

6月定例議会 代表質問

質問:中村かずひこ

1.今後の財政運営について



質問 新型コロナウイルス感染症は、市民生活のあらゆる分野に影響を及ぼしており、来年度以降の税収の落ち込みも懸念される。その一方、**今年度予定**していた事業で実施を見合わせるものもある。**中止となつた主な事業**にはどのようなものがあるのか。また、その**事業費の総額**は。

答弁 イベントでは『いちごまつり』、『真岡の夏まつり及び花火大会』、『尊徳夏まつり』、『もおか木綿踊り』、『井頭マラソン』などが中止となる。そのほかに、中学校の姉妹校との国際交流事業、社会科見学や自然教育センター及び科学教育センターの送迎用バスの借上げなども行わず、**その総額は約1億円**に上る。なお、この事業費は新型コロナウイルス感染症対策のため、**財政調整基金**に積み立てる。

2.市民への情報提供のあり方について



質問 現在、真岡市では**新型コロナウイルス感染症の支援策**を、ホームページなどで伝えているが、日々新しい情報が蓄積されるため、**分かりにくい**との指摘がある。茂木町や那須塩原市のように、支援策の**内容や連絡先を一覧表**にまとめることはできないものか。また、インターネットを使うことが苦手な市民もあり、**広報紙の活用も課題**であると考えるが。

答弁 新型コロナウイルス感染症については、国、県はもとより市も独自の支援策を行い、大変多岐にわたっているのと同時に、日々変化もしている。これらの情報は、ホームページや広報紙などで伝えてきたが、今後は**各種の支援策を一覧表**にまとめ、**相談窓口を明記**するなど、新たな情報提供のあり方を検討し、**早期に実施**したい。

3.防災・減災対策について



質問 毎年、地震や豪雨などの自然災害が、全国各地で起きているが、今後は**避難所自体がクラスターになる危険性**を視野に入れる必要がある。先日**真岡市**では、専門家の指導を受けながら、**避難所の感染リスク**をどこまで抑えられるか**実証実験**を行った。しかし、そうした取り組みだけでは不十分である。民間施設の活用も視野に入れながら、避難所の数を増やすなど、早急に**避難所のあり方**そのものを**見直すべき**と考えるが。

答弁 今後、避難所を開設する際には、間仕切り段ボールの上部をビニールシートで囲うなど**飛沫感染防止**に努めるほか、**検温**や**問診**を行い、発熱などが確認された場合は別室に案内するなどの対応をとる。また、避難所内の**ソーシャルディスタンス**の確保や**施設内の換気**も徹底していく。さらに、3密を避けるため、指定避難所以外の学校の空き教室、市公民館の各分館をはじめ、**旅館・ホテル**にも**避難宿泊**できるよう、協定書締結に向けて**市内宿泊業者と交渉**を進めている。なお、市職員用の手順書となる**避難所運営マニュアル**についても、**6月末までに作成**する。

質問 マスクや消毒液、ガウン、ゴーグルなどは、避難所を運営する際の感染予防にも欠かすことができないものである。今後どのように確保していく計画なのか。

答弁 **サーナカルマスク**は、以前から備蓄してきた**56万枚**のうち、**約9万枚**を配布した。令和元年度に購入予定だった25万枚は、年度内の入手が困難となつたため、状況を見ながら購入していく。また、市内外から**約10万枚の寄付**を受けたため、福祉施設などに**約5万枚を配布**した。**消毒薬**は、**2,520リットル**の備蓄量に対して、**約1,800リットル**を配布した。現在は入手困難であるため、**微酸性電解水の生成装置**を購入予定である。**防護服**や**ゴーグル**は**840セット**備蓄し、これまで**未使用**だが、引き続き確保に努めていく。

4.サーマルカメラの設置について



質問 **サーマルカメラ**は、顔部分の表面温度を瞬時に計測できる。現在、さくら市が市役所などに設置をしており、**真岡市でも全ての小中学校に設置**する方針が先日示されたところである。今後、**新庁舎や二宮コミュニティセンターなどに設置する考え**はあるのか。

答弁 現在、庁舎や二宮コミュニティセンターの、入口にアルコール消毒液を設置したほか、各課の受付窓口に飛沫防止用のパーテーションを設けるなど感染防止策を講じてきた。そのため、現時点では**新庁舎や二宮コミュニティセンター**などに**サーマルカメラを設置する考えはない**。市民の皆様には、日々の検温や手洗い・消毒などを実践していただきたい。

5.夏季休業を短縮して行う授業について



質問 **真岡市の小中学校**では、今年の**夏休みを8月8日から16日まで**に短縮して、授業時間の確保に取り組もうとしている。ただし、**授業は3時間のみ**で、給食も提供されない。県内他市や芳賀地域の4町の状況を調べると、夏休みの期間が8月1日から16日までであり、原則として通常の授業時間で行い、給食も提供されるという。つまり、**真岡市の子ども達は、夏休みが他市町と比べて7日間短い**にもかかわらず、**授業時間は35時間不足**し、しかも**給食が出ない**ということになる。改善を図るべきではないのか。

答弁 学校の**教科書で扱う内容**は、**35週で学習**できるよう計画されている。今回の夏休みの短縮により、**約38週分の授業時間**を**確保**した。7月21日から8月31日までの期間に行う授業は、子ども達の**熱中症対策**として、通常よりも早く**午前8時から授業を開始**する。3時限目まで授業を行い、**気温が上がる前に帰宅**できるようにした。また、給食を出さないのは、**食中毒が懸念**されるからであり、見直しについては考えていない。

【答弁者】

石坂 真一	市長
田上 富男	教育長
加藤 敦美	総務部長
野澤 伸一	市民生活部長
石田 誠	健康福祉部長
滝田 真	産業部長

6.アフターコロナに向けた対応について



質問 現在は、新型コロナウイルス感染症の対応に追われてはいるが、その先を見据えた行動もしていかなければならない。

『テレワーク』のような働き方の変革は、コロナ騒動の終息後も進んでいくものと思われる。東京圏に住む人々の、地方に暮らすことへの関心が高まっている中で、籍は都市部の企業に置きつつ、生活拠点は地方に移す人々も、今後さらに増えるのではないだろうか。

真岡市はこれまで、UIJターンの促進に力を入れてきたが、県内他市町との差別化が図れるまでには至っていない。今後どのように取り組んでいくのか。

質問 クラウドソーシングは、インターネットを活用して、文書作成やデザインなどの仕事が受発注できる仕組みで、新しい形の在宅ワークとして注目されている。

新型コロナウイルス感染症の影響により、リモートワークが普及し、その需要はさらに高まっているものと思われる。

足利市では、普及・促進を図るため、市民を対象とした講習会の開催や相談窓口の開設を行ってきた。真岡市も同様の取り組みを検討してはどうか。

答弁 現時点においては、新型コロナウイルス感染症対策に力を入れていくことが重要と考えているが、今後のUIJターン促進の新規事業としては、NPO法人『ふるさと回帰センター』を通じたオンライン移住相談に取り組んでいく。

また、市のホームページにて、市内の若い世代や移住者の生の声を引き続き発信していく。

さらに、県の就業支援サイト『WORKWORKとちぎ』の活用、市独自の『UIJターン就業定住補助金』や『移住支援金』などを整えることで、移住・定住・就業につながるように努めていく。

質問 クラウドソーシングは、時間と場所を選ばずに、自分のスキルに応じた仕事ができる。反面、多くの登録があり競争が激しく、単価が安いなどのデメリットもあることから、個人の責任において参入することが望ましいと考えている。

今後、インターネットを活用した新たな働き方が求められることから、他市の状況を調査し、検討していただきたい。

再質問



今後の財政運営について

要望 元々、真岡市には財政調整基金が約40億5,000万円あった。

このうち、コロナ関連の対策費として使われたのは4億8,000万円ほどで、全体の約12%である。

無尽蔵にあるお金ではないが、経済の本格的な冷え込みは、これから先のことだろうという予測もある。ぜひ、積極的な活用をお願いしたい。

防災・減災対策について

質問 報道によれば、避難所で3密を防ぐとなると、受け入れが従来の半分以下になるとのことだった。避難所の増設や民間施設との協定締結は、早急に進めるべきと考える。

いつ頃までに、避難所のあり方を見直せるのか。

答弁 6月中を目途に進めていきたい。

サーマルカメラの設置について

質問 真岡市では市内の全小中学校に、サーマルカメラを設置予定である。

災害時に多くの市民が庁舎に集まることを考えれば、新庁舎や二宮コミュニティセンターなどへの設置は必要ではないか。

すでに市役所に設置したさくら市の例を見ても、費用が1台あたり100万円前後であり、決して難しい話ではないと思うが。

答弁 学校は子ども達の登校時間が決まっており、教員などが立ち会って対応することもできる。しかし、市役所は不特定多数の方々が、それぞれの必要に応じた時間帯に来庁する。さらに、新庁舎では3ヶ所の入り口が設置されることもあり把握が難しい。

小中学校の中には、浸水想定区域にあるため、避難所として活用できないケースも考えられる。こうした学校のサーマルカメラを、災害時には市役所などに移動させて対応することも可能と思われる。

要望 災害発生時に、サーマルカメラを移動させることは可能なのか疑問が残る。

こうした課題も含めて、新庁舎や二宮コミュニティセンターへの設置を検討していただきたい。

夏季休業を短縮して行う授業について

質問 夏休みの期間中に、子ども達に昼食を用意することが困難な家庭は決して少なくない。場合によっては、貧困により給食が頼りという家庭もある。

食中毒の問題を懸念材料として挙げていたが、それは県内他市や芳賀地域の4町も条件は全く同じはずである。

そもそも、9月上旬に出せる給食が、8月下旬に出せないことの根拠が分からぬ。

答弁 気温のピークである午後2時から3時の時間帯に、低学年の子ども達を帰宅させることは避けなければならない。

また、2年前の気候を調べてみると、7月後半の21日から31日までに、30度を超える日が9日間あった。こうしたことから総合的に判断して給食は出さず、午前中の早い時間帯に下校させることにした。

質問 もうひとつの懸念材料は授業時間である。県内他市や芳賀地域の4町と比べて、真岡市は夏休みの期間に確保できる授業時間が35時間も不足する。

周辺の自治体が、それだけの授業時間を確保している状況は把握していたのか。また、今回生じる授業時間の差についての認識は。

答弁 授業時間の確保は、夏休みだけで考えている訳ではない。自然教育センターでの宿泊学習のほか、社会科見学やマイチャレンジ推進事業などが実施されないため授業に充てることができる。また、8月までの教員研修も中止となるため、その分も授業時間の確保につながる。さらに、総合的な学習の『探究活動』も、18時間分は授業日以外の土曜日・日曜日などに、子ども達の自主的な活動として行うことができる。他の自治体と比べても遜色がないものと考えている。

マイチャレンジ推進事業や社会科見学などが実施できないのは、他の自治体も全く同じである。

つまり、真岡市において授業時間の差を埋められるのは、宿泊学習の部分だけしかない。しかも、元々中学3年生は宿泊学習を実施しないので、受験生に限れば35時間の授業の不足分は全く補えない。

要望 また、新型コロナウイルス感染症の第2波が、いつ来るか分からぬ状況では、可能な時に授業時間を確保するのが道理ではないか。

今回調べてみたところ、104時間よりも多くの授業時間を確保している自治体もある。

さらに、給食について考えれば、周辺に頼れる親戚が多いということを忘れるべきではない。

こうしたことを総合的に考えた上で、教育委員会には再度検討していただきたい。

アフターコロナに向けた対応について

要望 県などとの連携を強化するということは理解する。

しかし、私がこれまで視察をした広島県尾道市や徳島県神山町など、UIJターンで高い評価を受けている自治体の共通点は、そのまことに移住するイメージが膨らむ情報を自ら制作し、あらゆる手段を使って発信しているところである。

ぜひ真岡市としても、そうした部分にも目を向け、力を入れていただきたい。

特集 新型コロナウイルス感染症関連の支援策について

今回の『中村かずひこ通信』では、現時点で申請が可能な新型コロナウイルス感染症関連の主な支援策をお知らせします。（7月27日現在）

個人・世帯向けの支援策情報

“休業”や “失業”で 家計が維持 できない	緊急小口資金貸付 (無利子) 最大20万円	真岡市 社会福祉協議会 ☎0285-82-8844
“離職等”で住宅を 失った 失うかも	総合支援資金貸付 (無利子) 最大20万円×3ヶ月分	自立相談 支援センター ☎0285-81-6011
“大学・短大等”に 通い続けるのが 困難	住居確保給付金 家賃相当額×3ヶ月分 (上限額あり)	各学校または 日本学生支援機構 ☎0570-666-301
“税金・使用料等” が払えない (猶予・減免・免除等)	高等教育の修学支援制度 授業料の減免 + 給付型奨学金等	市税等 真岡市納稅課 ☎0285-83-8115 県税 真岡県税事務所 ☎0285-82-2135 国税 国税猶予センター ☎0120-948-249 市営住宅使用料 真岡市建設課 ☎0285-83-8694 上下水道使用料 真岡市水道課 ☎0285-83-8166 真岡市下水道課 ☎0285-83-8160 国民年金保険料 宇都宮東年金事務所 ☎028-683-3211 真岡市国保年金課 ☎0285-83-8593 国民健康保険税 真岡市国保年金課 ☎0285-83-8594 後期高齢者医療保険料 真岡市国保年金課 ☎0285-83-8594 介護保険料 真岡市いきいき高齢課 ☎0285-83-8094
今回ご紹介した支援策のほかに、事業者の地代・家賃等の負担を軽減する 家賃支援給付金の申請がスタートしました。 法人に最大600万円、個人事業者に最大300万円を一括支給		

事業者向けの支援策情報

売上がり前年同月比で 50%以上 減っている	持続化給付金 法人最大200万円 (個人最大100万円)	真岡商工会議所 ☎0285-82-3305 にのみや商工会 ☎0285-74-0324
売上がり前年同月比で 30%以上50%未満 減っている (ただし、個人農業者は前年月平均比)	真岡市事業継続給付金 農業継続給付金 1法人20万円(個人10万円)	真岡市商工観光課 ☎0285-83-8135 真岡市農政課 ☎0285-83-8139
売上がり前年同月比で 3%以上 減っている	真岡市緊急対策資金 (貸付) 限度額1,000万円	[利 率] 0.8~1.2% [利子補給] 3年間 [相談(申請)窓口] 市内取扱金融機関 [保証料] 全額補助
9月30日 締切 従業員に 休業してもらう	雇用調整助成金 1人1日あたり 最大1万5千円	ハローワーク真岡 ☎0285-82-8655
感染防止に 取り組むなら	真岡市新型コロナウイルス 感染症予防対策支援金 1事業所2万円 複数事業所5万円	真岡市商工観光課 ☎0285-83-8643
8月7日 締切 テレワークや 非対面サービス等に 取り組むなら	小規模事業者持続化補助金 対象経費の 2/3~3/4(最大100万円)	真岡商工会議所 ☎0285-82-3305 にのみや商工会 ☎0285-74-0324
8月24日 締切 新たな販路開拓に 取り組むなら (対象:創業から3年以上)	真岡市小規模事業者支援補助金 対象経費の 1/2(最大20万円)	真岡市商工観光課 ☎0285-83-8134 真岡商工会議所 ☎0285-82-3305 にのみや商工会 ☎0285-74-0324
市内で創業 または事業承継した 事業者へ (対象:創業から3年未満)	真岡市新製品開発・販路開拓支援補助金 または事業承継支援補助金 新規事業経費の1/2 (最大30万円)	※各支援策には、細かい条件が設定されている場合があります。 まずは、それぞれの担当部署にご相談されることをおすすめします。

今回ご紹介した支援策のほかに、事業者の地代・家賃等の負担を軽減する
家賃支援給付金の申請がスタートしました。
法人に最大600万円、個人事業者に最大300万円を一括支給

7月22日(水)から、真岡商工会議所で
申請サポートも行っています。

お問い合わせ [真岡商工会議所]
☎0285-82-3305

コラム すーむあっぷ

新型コロナウイルス感染症の影響による小中学校の長期休校をカバーするために、真岡市教育委員会(市教委)では、夏休みを短縮して授業時間を確保することとした。しかし、当初の計画では、夏休みの期間を8月8日～16日とし、給食の提供を行わず、授業は毎日3時間のみという内容だった。

この件については、私の方にも多くの保護者から『その程度の授業時間で大丈夫なのか?』『なぜ給食が出ないのか?』といった疑問の声が寄せられた。そこで、県内他市町の状況はどうなっているのだろうかと、私も軽い気持ちで調査を始めてみたのだが、その結果には正直なところ驚かされた。

芳賀地域の4町をはじめ、栃木県内の大半の市町が、夏休み期間を8月1日～16日とし、通常通りの授業編成で進め、給食も提供されるというのである。

仮に、当初の計画通り進めていくと、真岡市の子ども達は、他市町の子ども達と比べて夏休みは7日間少ないにもかかわらず、授業時間で見ると35時間も不足することになり、給食も提供されない。

『夏季休業を短縮して行う授業』の議論を通して見てくる課題

市教委では、2学期以降の対応で授業の遅れは十分カバーできると考えていたようだが、マイチャレンジ推進事業や社会科見学の類は、他市町でも今年度は実施されない可能性が極めて高く、35時間の不足分をどこまで埋めることができるのか、大いに疑問が残った。加えて、コロナ禍の第2波がいつ到来するのか分からぬ現状にあっては、可能な時に授業時間を確保するのが、最善の策のように思われた。

なお、この件については、市教委がその後再検討を行い、県内他市町とほぼ同じ内容の授業編成に改められ、給食も提供されるようになった。市教委には、多くの保護者から要望が寄せられ、それが実現に向けて大きな原動力となったことも、この場を借りてご紹介したい。

しかし『見直されたからよかった』と単純に済ませていい話とは、どうしても思えないものである。そもそも、今回のような計画が、なぜ打ち出されることになったのか。そのことについては、再度検証する必要があるのではないだろうか。

前々号のコラムで、教育課題の調査研究や計画立案を行う『教育研究所』が、真岡市には存在しないということを指摘した。今回の問題は、調査研究が他市よりも手薄(県南6市で『教育研究所』がないのは真岡市のみ)だったからこそ、起きたものであると思えてならない。

市教委は『教育研究所』の設置に消極的であるが、そうした教育行政の組織全般を見直す必要性を、この度の議論を通じて改めて感じた次第である。

中村かずひこ活動日誌

4月

6日	交通安全指導(高間木の交差点) 真岡地区遺族会会計監査	16日	新型コロナウイルス感染症対策支援本部会議
8日	真岡市遺族連合会役員会	18日	真岡地区遺族会総会
10日	議員協議会	20日	新型コロナウイルス感染症対策支援本部会議
15日	議会だより編集委員会	27日	議員協議会
16日	会派代表者会議 議員協議会	28日	新型コロナウイルス感染症対策支援本部会議 ※市議会としての要望書を執行部に提出

5月

7日	新型コロナウイルス感染症対策支援本部会議	25日	会派代表者会議 議会運営委員会 議員協議会 議会活性化等検討委員会
12日	会派代表者会議 議会運営委員会 議員協議会 新型コロナウイルス感染症対策支援本部会議	27日	代表質問の通告書を提出
15日	会派間協議	28日	質疑・一般質問調整会議 ※その後、担当課によるヒアリング
18日	新型コロナウイルス感染症対策支援本部会議		
19日	臨時議会		

6月

1日	あいさつボランティア 6月定例議会開会	17日	会派代表者会議 議会運営委員会 6月定例議会閉会
8日	会派代表者会議 議会運営委員会 議員協議会 質疑・一般質問 ※この日、トップバッターとして登壇	22日	新型コロナウイルス感染症対策支援本部会議 あいさつボランティア 会派「もおか新時代」研修会(於:下野市)
9日	新型コロナウイルス感染症対策支援本部会議	29日	あいさつボランティア 会派代表者会議 議会運営委員会 議員協議会
10日	会派「もおか新時代」研修会		
15日	あいさつボランティア 総務常任委員会		
16日	『ひばりの会』定例会		